

～繋がるキャンパス～第4回飛騨高山学会
発表日：令和4年12月10日

松本高山ビッグブリッジ内における 観光プログラムの提案

～自然に寄り添う秘密基地 松本高山エコグランピング～

～文教大学国際学部海津ゼミナール所属3年～

秋庭光希・木村佳菜子・草野颯斗・小野由葵・藺田真宏・福嶋柊威・堀内陽香里

目次

- | | |
|----------|------------|
| (1)はじめに | (6)提案内容 |
| (2)調査方法 | (7)期待される効果 |
| (3)調査結果 | (8)残された課題 |
| (4)総合考察 | (9)謝辞 |
| (5)ターゲット | <参考文献> |



(1) はじめに

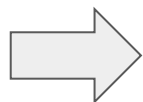
中部山岳国立公園エリアの活性化

→松本高山BigBridge構想による観光圏の開発

BigBridge構想とは（提唱者：松本高山BigBridge構想実現プロジェクトチーム）

中部山岳国立公園南部地域を間に挟み、長野県松本市街地と岐阜県高山市街地を繋ぐ横断ルートを“Big Bridge（ビッグブリッジ）”と位置付け、多彩で上質な体験と滞在ができる魅力的な観光ルートを磨き上げていく構想のこと

移動距離約80kmから好きなだけ、好きな移動方法で、様々な楽しみ方を提案することができる



観光を点ではなく、面で捉えることが必要である

(2) 調査方法

1) 文献調査

- ・ 高山市の概要・土地利用・歴史・自然・観光・文化・名人の7項目で基礎調査を行った。

2) 現地調査

- ・ 10月1日～2日（1泊2日）の滞在で観光地を調査
- ・ 訪れた場所：上高地、平湯温泉、高山市、新穂高ロープウェイ、松本城

3) ヒアリング調査

- ・ 10月13日に齋藤元紀様（松本アルプス山岳郷代表理事）へのヒアリング調査を実施

4) アンケート調査

- ・ 関東圏の大学生・大学院生を対象に松本高山BigBridge構想についての印象と、旅行に対する意識についてのアンケート調査を実施
- ・ 9月28日から10月11日まで実施し、214件の回答を回収した。

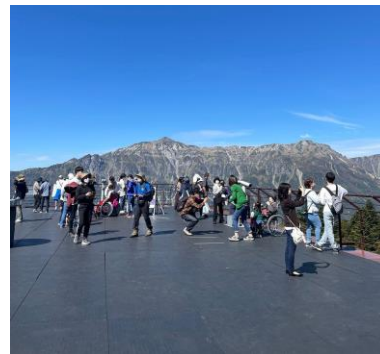
(3) 調査結果

1) 文献調査から得たこと

- 山地や山脈が多い地形である。
- 観光客は1泊2日の旅行日程で訪れることが多い。
- 再訪の意思は比較的高いため、リピーターを獲得できる可能性が高い。
- 車での移動が主流となっている。
- 松本高山BigBridge構想という観光圏開発が行われている。

2) 現地調査から得たこと

- ・ 1泊2日の旅行日程を組む観光客が多いが、その日程では十分に松本市から高山市やその間の観光地を巡ることは難しい。
- ・ 公共交通機関での移動は、観光地を巡る自由度は低いが、上高地などマイカー規制が行われている範囲では、タクシーやバスなどの移動手段が確保されている。
- ・ 高山市内や上高地には外国人の方も多く訪れていた。
- ・ 若い世代の観光客は少なかった。
- ・ 外国人も多く訪れていた。



新穂高ロープウェイ



上高地



平湯温泉

3) ヒアリングから得たこと

- ・ 四季折々、朝昼夜で風景の変化がある。
- ・ 温泉客の客層は平均して50～60代が多い。
- ・ 宿泊を促すことで、**少ない観光客にお金を落としてもらう**ことを目指している。
- ・ 観光地の課題を隠すのではなく見せるという方法で、旅行客の環境への理解を促進させることができる。
→現在ヨーロッパでは課題を探すことを目的とした観光が増えている。



幅広い世代に温泉を利用してもらうため、若者の温泉利用率を増加させることが求められると考える。
課題を見せる観光を行うことで、日本人に限らず外国人をターゲットにすることが可能であると考えます。

日時：10月13日

対象者：齋藤元紀様

(松本アルプス山岳郷代表理事)

手法：ズームによるオンライン会議

4) アンケート調査及び結果

・趣旨（アンケート調査票より抜粋）

「私たちは「松本高山ビッグブリッジ構想」に興味を持ち、調査を進めております。進める中で、都内の大学に通う私たちだからこそできる提案をしたいと考えました。そこで、首都圏の大学に通う大学生にビッグブリッジ構想についてや、旅行に関する意識をお聞きします。」

・項目

1. 機会があったら行きたいもの
2. ビッグブリッジで、どのようなアクティビティを体験したいか。
3. ビッグブリッジ内でどこに行きたいか。
4. ビッグブリッジ内で構想されているプログラムで気になるのはどれか。
5. 観光地に求めるものは何か
6. 普段の情報収集に何を使っているのか

・対象大学(首都圏キャンパスのみ)

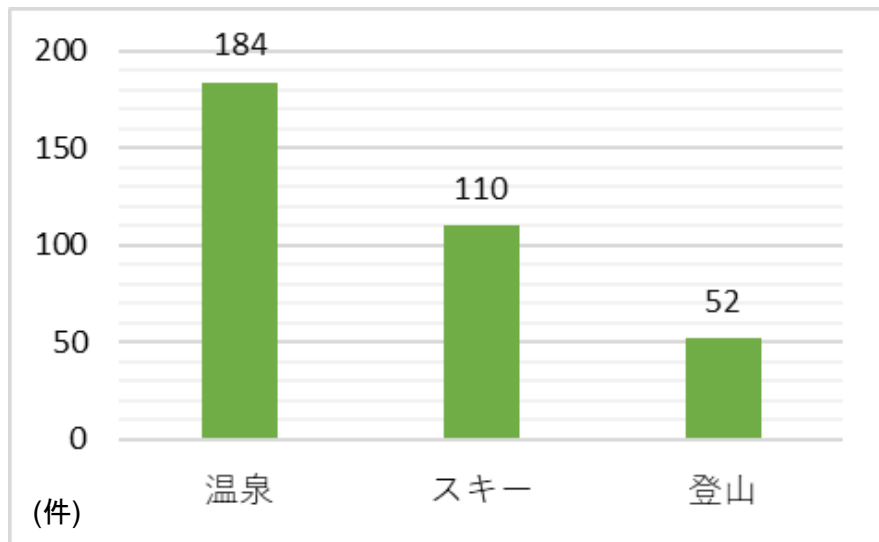
1. 東京大学
2. 東京都立大学
3. 立教大学
4. 東洋大学
5. 杏林大学
6. 筑波大学
7. 文教大学

回答数 214件

1. 機会があったら行きたいもの

①登山 ②温泉 ③スキー

(選択式 複数回答可)

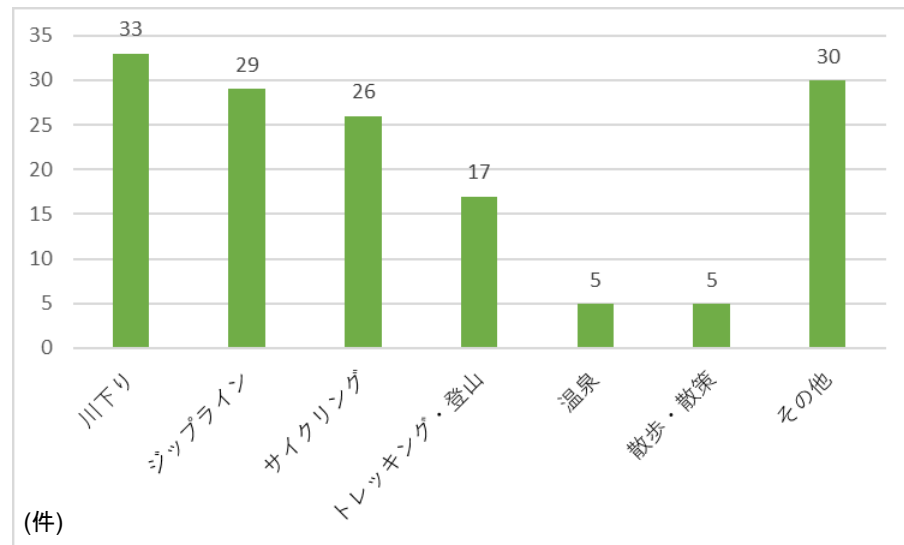


回答数 214件

結果：温泉に行きたいと考えている人が多い。

2. ビッグブリッジ内で、どのようなアクティビティを体験したいと思うか

(自由記述)

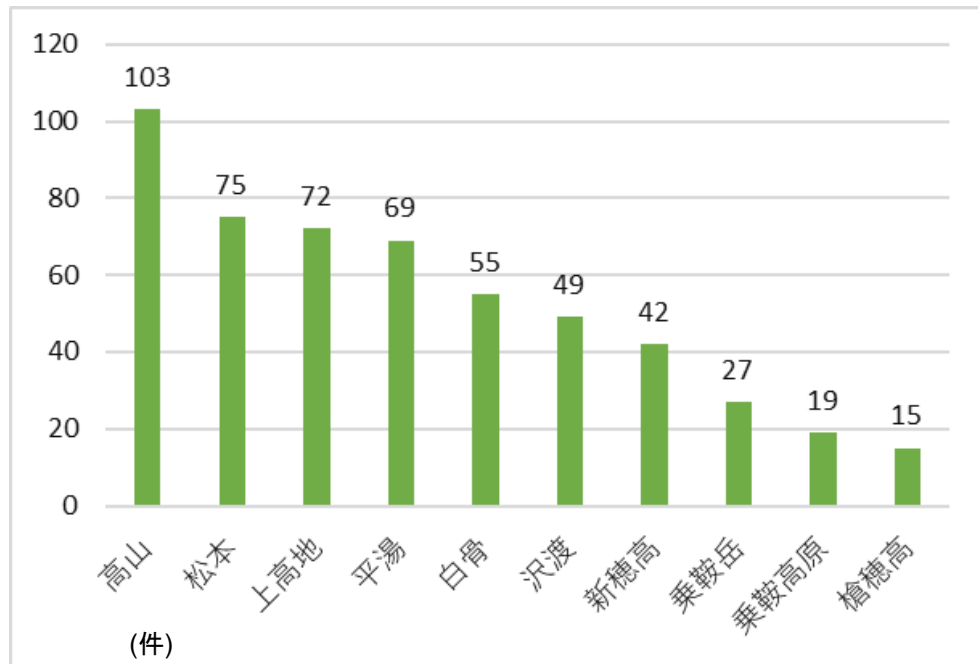


回答数 214件

結果：アクティビティでは川下りやジップラインが人気。

3. ビッグブリッジ内でどこに行きたいか。

(選択式 複数選択可)



回答数 214件

結果

- ・ 高山・松本・上高地という比較的知名度が高い観光地の人気が高い。
- ・ 次いで平湯・白骨・沢渡などの温泉地域の人気が高く、観光地と温泉をセットに旅行を組み立てる学生が多いと考えられる。

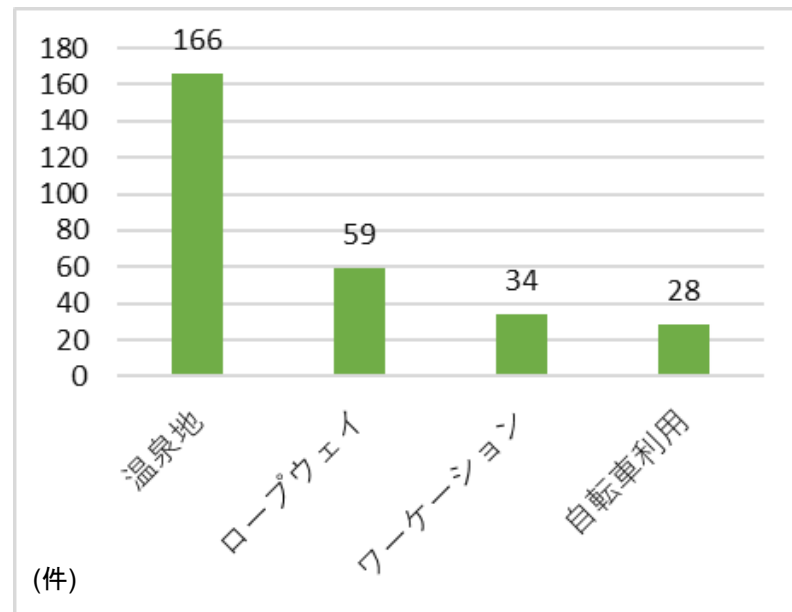
4. ビッグブリッジ内で構想されているプログラムで気になるのはどれか。

(プログラムのうち4つを抜粋) (選択式 複数回答可)

〈選択肢〉

- ・ 温泉地を拠点とした魅力的な体験プログラムの開発
- ・ 新穂高ロープウェイ関連施設の整備・リニューアル
- ・ ワークーションに適した地域づくり
- ・ 乗鞍岳を中心として自転車利用適正化の推進

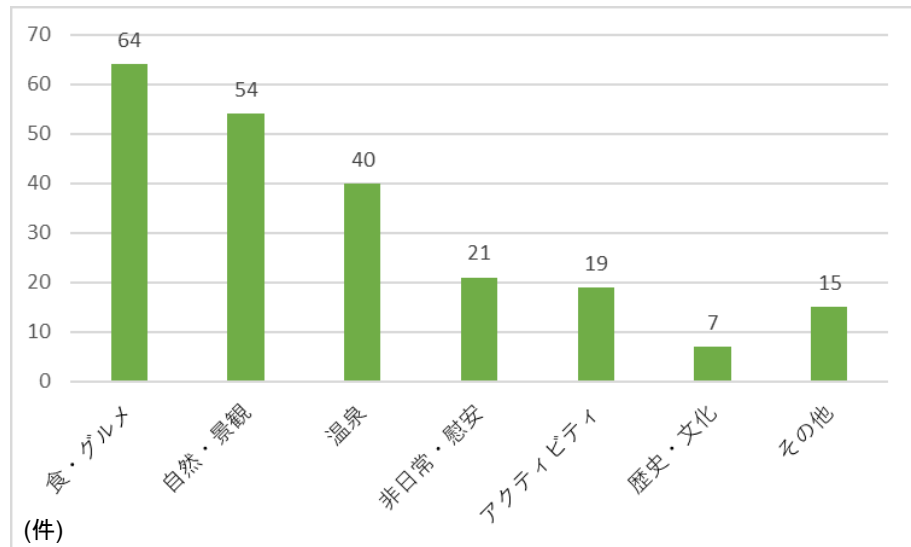
結果：温泉地を拠点とした魅力的な体験プログラムの開発への注目度が最も高い。



回答数 214件

5. 観光地に求めるものは何か

(自由記述)

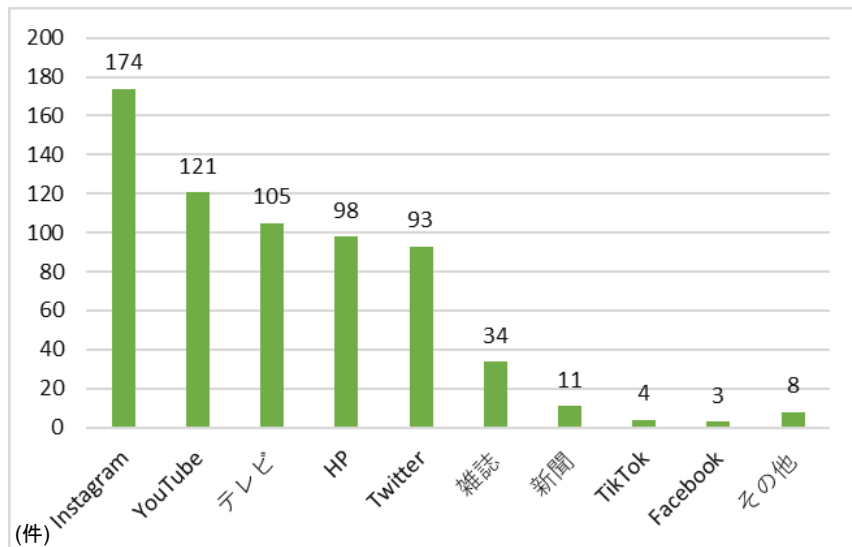


回答数 214件

結果：観光地に求めるものとしては食・グルメという回答が最も多い。

6. 普段の情報収集に何を使っているか

(選択式 複数選択可)



回答数 214件

結果：インスタグラムが最も多く、プロモーションには紙媒体よりもSNSが有効であると考えられる。

5) アンケート結果から得たこと

- ・ 四季折々の自然や、レトロさを感じられる街並みなどといった景観を楽しみたいという意見が見られた。
- ・ 温泉に興味を持っている若者が非常に多い。
- ・ 観光地に求めるものとして食と自然が半数以上を占めており、現地でしか食べられない、また体験できないようなことを重要視している。
- ・ InstagramなどのSNSで情報収集を行っている若者が非常に多い。



温泉を利用したい人が多いと考える。
ゆったりと自然を楽しみながら旅行をしたい人が比較的多いと考える。

(4) 総合考察

1) 調査からの考察

<文献調査から>

・観光客は1泊2日の旅行日程で訪れることが多いため、宿泊施設の需要が高い。

<現地調査から>

・若い世代の観光客は少なかったため、プロモーションによっては様々な世代の訪問が見込める。

<ヒアリングから>

・幅広い世代に温泉を利用してもらうために若者の温泉利用率を増加させることが求められる。
・日本人に限らず外国人の富裕層をターゲットにする必要がある。

<アンケートから>

・温泉を利用したい人が多い。
・ゆったりと自然を楽しみながら旅行をしたい人が比較的多い。

2)まとめ

- 若者の温泉利用率は低いが、利用したいと考えている人が多い。
- 観光客に環境に配慮した観光の方法を学んでもらいたい。
- 観光地として、食や自然・景色などを楽しめるプログラムが有効であると
考えられる。

自然に寄り添う秘密基地～松本高山エコグランピング～

(5) ターゲット

① 富裕層

- ・ 高めの料金設定で非日常感を味わうことができる、質の高いグランピングとエコツアーの提供

② 外国人観光客

- ・ 「日本ならではの」「高山ならではの」といった施設サービスとエコツアー体験の提供
- ・ 車での送迎サービス

③ 自然環境を学ぶ意欲のある学生

- ・ 若者に人気の高い川下りなどの自然アクティビティの提供
- ・ 学割
- ・ エコツアーにより自然環境への理解を高める
- ・ 手ぶらで自然を楽しむ快適さ

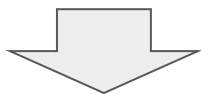
(6) 提案内容

1) 用語の定義

グランピングとは

グラマラス（魅惑的な）とキャンプを掛け合わせた造語であり、幅広い世代から人気を集めている。

テント設営や食事の準備といった手間を省き、気軽にアウトドアを楽しむことができる。



「良い所取りの自然体験」



※引用：ニセココテージボンゴ広場

2) コンセプト

【自然に寄り添う秘密基地 松本高山エコグランピング】

グランピングでは高山の自然を景観のみならず、建物や食からも感じ、非日常空間の提供を目的とする。

さらに選択式のエコツアーでは、幅広い世代の人々に環境理解と、飛騨高山に対しての興味・関心を高めることが可能になる。

高山の自然による非日常空間



幅広い世代に対応可能な
選択式のエコツアー

3) グランピング施設の建設候補地

【平湯キャンプ場周辺、中部山岳国立公園】



- ・十分なスペースを確保することができる
- ・主要な観光地へのアクセスが良い
- ・温泉地が多い
- ・国立公園におけるグランピング等促進事業が実施されている



平湯温泉は、
主要な観光地の中心部にあるよ！



4) 宿泊施設について

・コテージ



※引用：岐阜ひるがの高原 和みの舎ひるがの

高山市街の街並みをイメージし、
飛騨高山の木材を使用した建物

・ガラスドームテント



※引用：伊豆シャボテンヴィレッジグランピング

開放感のある建物で、
星空や豊かな自然を楽しむことができる

5) サービスについて

① 高山の食材提供

- ・ 高山市で収穫された野菜や、飛騨牛、飛騨牛乳、日本酒などの提供を行い、地産地消にこだわる。

② 送迎サービス

- ・ 専用車でエコツアーの場所までの送迎と、利用したい温泉地までの送迎を行う。

③ 1組につき1人ガイド付き

- ・ 専用のガイドをつけることで、「人との出会い」も大切な思い出作りとなる。
- ・ 高山のことや自然環境について、より深い知識を得ることができる。
- ・ 緊急時に即座に対応が可能となる。

6) エコツアー体験

エコツアー体験を宿泊とセットにする。
幅広い世代に対応できるように、
様々な種類を選択できるようにする。



環境への理解と学びを得てもらうことが目的。

例

春・乳しぼり

・動物とのふれあい体験

・ジップライン

・五色ヶ原の森

・川下り

・カヤック

・サイクリング

・トレッキング

四季折々の
エコツアー体験

・サイクリング

・トレッキング

秋

・ジップライン

・鍾乳洞

・星空観賞

・伝統工芸品の製作体験

・酒造体験

冬



※引用：日本エコツーリズム協会

雨の日は文化体験を行う。

・陶芸体験

・酒造体験

参考例 1 【MT.FUJI SATOYAMA VACATION】



宿泊料金

1日1組限定4名～
平日：132,000円/4名様
休日：176,000円/4名様



エコツアー料金

料金
7,700～13,200円（1名）

ツアー内容

- 1 E-BIKE
- 2 富士山トレッキング
- 3 富士山フォレストウォーキング

参考例 2

ターゲットが富裕層であるため、5ヶ所の比較的金額の高いグランピング施設を調査した。

1名当たりの金額を平均した結果、朝夕付で44,830円という結果だった。

- | | | |
|-----------|--------------------------|-------------------|
| ・長野県阿智村 | mokki～STARDUST GLAMPING～ | 料金：4名利用時1名34,650円 |
| ・静岡県伊豆市 | 伊豆シャボテンヴィレッジグランピング | 料金：4名利用時1名25,800円 |
| ・東京都あきる野市 | 本物の自然【WOOD LAND BOTHY】 | 料金：4名利用時1名33,000円 |
| ・三重県志摩市 | グランドーム伊勢賢島 | 料金：4名利用時1名40,200円 |
| ・湯布院温泉郷 | グランピング COMOREBI | 料金：2名利用時1名90,500円 |

7) 料金の算出方法

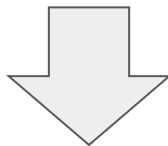
参考例のアイデア

- ①高山の自然を生かした施設
- ②地産地消にこだわる
- ③グランピング×エコツアー



オリジナル案

- ①こだわりの宿泊施設
- ②選択式エコツアー
- ③送迎サービス
- ④ガイド付き



基本料金60,000円と設定

8) 料金形態

【料金】

一般料金：エコツアー体験(選択制)+宿泊費+送迎サービス=60,000円

学生料金：中学生から大学生までの学生は学生証の提示で20,000円割引=40,000円

子ども料金：小学6年生以下=20,000円

基本料金	中学生から大学生	小学6年生以下
60,000円	40,000円	20,000円

【施設】

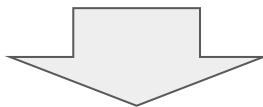
コテージとドーム型の選択制

【人数】

2組限定で1組5名程度

(7) 期待される効果

- ・ グランピング施設を作り、エコツアーをプランとして組み込むことで、**自然を堪能しつつ、自然への理解の向上**が期待される。(自然の中や星空の見える場所など)
- ・ 1日2組限定とし、少人数の観光を行うことで、オーバーツーリズムなどによる環境破壊の抑制に繋がる。
- ・ 質の高いサービスを提供することで、リピーターを獲得する。
- ・ **送迎サービス**を料金に組み込むことで、周辺にある温泉施設や観光地に訪問することが可能なため、飛騨高山に対しての認知度の向上が見込まれる。(マイカー規制も多く不便なため)



観光客と地域住民の両者の視点を取り入れることで、
双方ともに良好な関係を築ける。

(8) 残された課題

フィージビリティスタディができていない

→今後採算性や実現可能性などを多角的に調査・分析をする必要がある

謝辞

高山市役所
飛騨・高山観光コンベンション協会
高山市商工観光部観光課
高山市 飛騨高山プロモーション戦略部 観光課
飛騨の森ガイド協会
松本高山Big Bridge構想実現プロジェクトチーム
Satoyama Vacation
松本アルプス山岳郷代表理事 齋藤元紀様
アンケートに回答してくださった皆様
ご協力頂きありがとうございました。
文教大学海津ゼミナール一同深く感謝申し上げます。

<参考文献>

【基礎調査で使った文献】

- ・ 高山市の概要

<https://www.city.takayama.lg.jp/shisei/1000058/1001902.html>

- ・ 飛騨高山観光公式サイト

<https://www.hidatakayama.or.jp/>

- ・ 高山市の観光振興について

https://www.city.takayama.lg.jp/_res/projects/default_project/page/001/004/030/shiryuu7.pdf

- ・ 令和3年 観光統計

https://www.city.takayama.lg.jp/_res/projects/default_project/page/001/006/941/kankoutoukei_r03.pdf

- ・ ここは押さえない！飛騨・高山のおすすめ観光スポット23選

<https://www.ikyuu.com/kankou/arealist8191/>

- ・ 飛騨の森 | 飛騨の森ガイド協会

<http://hidanomoriguide.com/hidamori/>

- ・ 岐阜の自然環境の概要

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/15859.pdf>

【松本高山Big Bridge構想についての文献】

- ・ 松本高山Big Bridge構想実現プロジェクトの進捗状況について

<https://www.okuhida.or.jp/wp-content/uploads/2021/12/1a9ec8cfea09e8e3a29f7806513a3356.pdf>

- ・ 松本高山 Big Bridge Project
https://chubusangaku.jp/bigbridge_project/

【提案内容に関する文献】

- ・ MT.FUJI SATOYAMA VACATION
<https://satoyama-vacation.com/ecotours/>